

目 次

第1章 総説

1 沿革	1
2 施設の概要	1
3 組織及び業務内容	2
4 歳入歳出決算	5
5 試験研究費等の推移	6
6 主な試験検査機器	7

第2章 業務の概要

1 企画情報部	13
2 保健科学部	16
3 衛生科学部	21
4 環境科学部	24
5 地球科学部	26
6 検査部	29

第3章 研究報告

1 研究体系	33
2 研究概要報告	
(1) ノロウイルス検出感度向上に関する研究	37
保健科学部 主査専門研究員 佐藤 直人	
(2) 腸管出血性大腸菌による健康被害発生時における疫学的解析手法の検討に関する研究	38
保健科学部 主査専門研究員 高橋 雅輝	
(3) 病原微生物の分子疫学指標のデータベース化に関する研究	40
保健科学部 上席専門研究員 岩渕 香織	
(4) マダニ媒介性感染症に関する基礎研究	42
保健科学部 上席専門研究員 梶田 弘子	
(5) ウイルス媒介性節足動物の生息に関する研究	44
地球科学部 主査専門研究員 西井 和弘	
(6) 粒径別大気粒子状物質の環境リスク評価と大気環境情報の可視化に関する研究	45
地球科学部 主任専門研究員 佐々木 和明、技師 菊池 一馬	
(7) 酸性雨による環境影響の総合的評価(広域連携事業)	46
地球科学部 主査専門研究員 西井 和弘	
(8) 食品中有害化学物質検査の精度管理体制の強化及び検証	48
衛生科学部 部長 菅原 隆志、上席専門研究員 中南 真理子、同 吉田 敏裕、 専門研究員 長澤 敦	
(9) 腸管出血性大腸菌(EHEC)の検査法に関する研究	49
検査部 主任専門研究員 山中 拓哉	
(10) 有機フッ素系化合物に係る日中韓汚染状況比較及び生体影響解明等に関する研究	50
環境科学部 主査専門研究員 岩渕 勝己、国際研究推進専門員 齋藤 憲光	

(11) PPCP s (Pharmaceutical and Personal Care Products) 等化学物質実態調査 (岩手県内の河川水中のLAS及び蛍光増白剤の分析) -----	52
環境科学部 主任専門研究員 安部 隆司、同 八重樫 香、主査専門研究員 岩渕 勝己、 同 奈良 裕佳子、部長 小野 正文	
(12) LC-MS/MSによるDNAアダクトームの解析-----	54
環境科学部 主任専門研究員 八重樫 香	
(13) 希少植物の種の保存および地域資源としての活用に関する研究-----	55
地球科学部 主査専門研究員 小山田 智彰	
(14) イヌワシ個体群の生態的特性および遺伝的構造に関する研究-----	56
地球科学部 主査専門研究員 前田 琢	
(15) ヘア・トラップ法によるツキノワグマの生息動向と個体数推定法の開発-----	58
地球科学部 主任専門研究員 山内 貴義	
(16) 里山における半自然草原の生物多様性保全に関する研究-----	60
地球科学部 主任専門研究員 新井 隆介	
3 研究課題の外部評価-----	63
4 資料	
(1) 感染症発生動向調査事業における病原体検出状況 (平成25年度) -----	71
高橋 雅輝 岩渕 香織 佐藤 直人 梶田 弘子 齋藤 幸一	
(2) QFT検査の実施状況 (平成25年度) -----	80
梶田 弘子 佐藤 直人 高橋 雅輝 岩渕 香織 齋藤 幸一	
5 学術雑誌等掲載論文	
(1) The association between dietary lifestyles and hepatocellular injury in Japanese workers-----	85
齋藤 憲光	
(2) 環境水中の有機フッ素化合物による環境汚染-----	86
齋藤 憲光、津田 修治	
6 研究発表抄録-----	89
第4章 研究発表目録	
1 著書-----	103
2 学術雑誌原著論文-----	103
3 総説・報告等-----	103
4 学会等での口頭発表-----	104
5 県民等に対する啓発活動の状況-----	106